



吉川小だより

9月号 令和4年8月29日 亀岡市立吉川小学校

E-mail:el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp

行事を通して「優しさの練習」を



39日間の夏休みはどのように過ごされたでしょうか。猛暑や大雨など不順な天候でしたが、大きな事故もなく元気に2学期が迎えられたことをうれしく思います。夏休みで体験したことや見つけたことなど、たくさん話してほしいと思います。

80日間の2学期が始まりました。運動会、吉川小フェスティバル、人権月間、第2回わくわく大会などの行事を通して、子ども達一人一人のがんばる姿と、みんなでやればできる体験がたくさん生まれることを願っています。

夏の高校野球で、東北の高校が史上初めて優勝しました。自然災害に苦しむ方々の勇気と希望になる出来事で、嬉しい気持ちになりました。また、選手が力いっぱい競技する姿に感動し、素晴らしいプレイの数々を見る度に、日々の練習の積み重ねを感じました。

「優しさの練習」という話を聞いたことがありますか。優しい行動が自然にできるようになるためには、野球と同じように練習の積み重ねがいるそうです。熊本県のキャラクター「くまモン」を考えられた方の話です。



「優しさの練習」
みんなで取り組もう

友達が間違ったり、失敗したりして、思った通りにできないことがあります。友達が「どうしよう、どうしよう。」と不安な気持ちになっていることに気付いても、イライラしたり、腹が立ったりして、怒ってしまいます。こんな時に「優しさの練習」をします。申し訳ない気持ちになっている友達や不安な気持ちになっている友達に「大丈夫だよ。」と励ましたり、面白い話をして気分転換をしたりして、互いに明るい気持ちで、もう一度一緒に活動するのです。「腹が立った時ほど、人に優しくする。」そう自分に言い聞かせて、取り組んでいると自然に優しくできる自分になっていくそうです。9月の運動会に向けた活動でも、イライラして言い合いになったり、ケンカしそうになったりします。そんな時こそ、「優しさの練習」をみんなで取り組んでいきましょう。

保護者・地域の皆様には、夏休み期間中、子どもたちの健康・安全にご配慮いただきました。2学期の学校生活を通して、自ら学ぶ力を高め、互いに協力し合い、助け合う心を育てて参ります。子ども達一人一人がさらにたくましく成長できるように、教育活動を積み上げていきたいと思っております。今学期も皆様のご理解と一層のご支援をお願いいたします。

コロナ感染症は拡大傾向にあります。三密の回避、規則正しい生活、マスク・手洗い習慣等のコロナ感染症予防について、引き続きご留意願います。

校長 橋本 浩三